

令和4年度総合文化センター自主事業実績一覧

1 鑑賞系事業(主催事業)

事業名	開催月日	会場	事業内容	入場者数(人)
1 【室内楽】 iichiko presents 小曽根真・No Name Horses THE BEST	6月24日(金)	iichiko グランシアタ	国内トップクラスのミュージシャンによるジャズ公演。小曽根真(ピアノ)と「No Name Horses」のエリック・ミヤシロ(トランペット)等15名のビッグバンドが小曽根作曲の「ノー・シエスタ」や「マイ・トゥモロー」等13曲を演奏。来場者から素晴らしい演奏を賞賛する声や大分公演を喜ぶ声があがった。	1,167
2 【室内楽】 松田華音ピアノリサイタル	7月4日(月)	iichiko 音の泉ホール	6歳でモスクワに渡り2019年にモスクワ音楽院を首席卒業した松田華音のリサイタル。当センターでは2020年に続き2回目。プログラムはオールショパンでスケルツォ全曲・24の前奏曲。繊細さもダイナミックな力強さもそなえた表現豊かな演奏に、来場者から素晴らしい称える声があがった。	387
3 【オーケストラ】 レクチャー付きオーケストラコンサート 〜ヘドヴォルザーク交響曲第9番「新世界より」	8月19日(金)	iichiko グランシアタ	指揮及びレクチャーは県立芸術文化短期大学の森口真司教授、オーケストラは九州交響楽団。第1部は森口教授がクラシック楽曲の基本形式や構成を「新世界」を題材にスクリーンで解説。第2部は九響による演奏。来場者からはレクチャーにより作曲家の工夫、聴き所がわかった、曲の魅力が深まった、演奏を集中して興味深く楽しんだ、今後もこのような企画を望む等の感想が寄せられた。	601
4 【ミュージカル】 日生劇場ファミリーフェスティバル 〜NHKみんなのうたミュージカル 『リトル・ゾンビガール』	9月17日(土)	iichiko グランシアタ	森に暮らす好奇心旺盛のゾンビの女の子と街に暮らす心優しい人間の男の子の友情を描いたミュージカル。観客からは「ダンスの動きや舞台の美しさに感動した」「それぞれの違いを認めて仲よくする大切さがわかった」「NHKみんなのうた『手のひらを太陽に』等が懐かしい」等親子で楽しんでいる声があがった。	538
5 【室内楽】 バッハ・コレギウム・ジャパン ブランデンブルク協奏曲全曲演奏会	10月6日(木)	iichiko グランシアタ	古楽器やバロック音楽に親しんでもらう「西洋音楽発祥の地プロジェクト」の一環。ブランデンブルク協奏曲(第1番〜第6番)はそれぞれ異なる楽器編成で、今回は鈴木優人の指揮・チェンバロで他メンバー21名が曲ごとに編成されバッハの世界と魅力を演奏した。福岡や宮崎等県外からの来場者も多かった。	590
6 【総合舞台】 創作舞台『ムジカと生きる』	11月6日(日)	iichiko グランシアタ	「西洋音楽発祥の地プロジェクト」の集大成及び「東アジア文化都市2022大分県」閉幕行事。穴井豪が総合監督と演出を務め、県民アーティストを中心に演劇、日舞、洋舞、合唱、オーケストラ等の総勢120人の表現者による総合舞台を創りあげた。	1,425
7 【オーケストラ】 NDR北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団	11月14日(月)	iichiko グランシアタ	グランシアタ9年ぶりの海外オーケストラ。来日したNDR北ドイツ放送フィルハーモニー交響楽団を招聘した。オール・ベートーヴェンプログラム・交響曲第3番「英雄」等を演奏。ピアノのゲルハルト・オピッツは2008年以降の来館で協奏曲第4番を演奏。ドイツオーケストラの表現力、素晴らしい音を聴く声があがった。	655
8 【室内楽】 小林道夫チェンバロリサイタル第5章	12月10日(土)	iichiko 音の泉ホール	J.S.バッハの楽曲をバロック音楽の大家・小林道夫氏が演奏するリサイタル。2017年から開催し今回は2022年1月の振替公演の第5章。「イタリア趣味による協奏曲 へ長調」「フランス風序曲 口短調」等を演奏した。	190
9 【オペラ】 オペラシアターこんやく座 オペラ『森は生きている』	12月24日(土)	iichiko グランシアタ	原作はロシアの児童文学者サムイル・マルシャークの戯曲「12の月の物語」。言葉(日本語)がはっきりわかるオペラを創作する劇団による30年の実績をもつ公演。12人の歌役者の力とオーケストラでこどもからおとなまで楽しんだ。劇中歌は子ども園等でも歌われており、県内外の子ども園や3世代での来場もあった。	732
10 【室内楽】 タンタシオン・デ・ブルー 12人によるチェロアンサンブル	2月5日(日)	iichiko グランシアタ	西洋音楽発祥の地プロジェクトとして、17世紀のフック「組曲二長調」から近代の瀧廉太郎やハチャトゥリアン、三枝成彰などの現代音楽まで、多彩なプログラムを演奏。来場者から「チェロの音色の重なりや深みの魅力」や「荒城の月」はもの悲しく荘厳な音色」などチェロを聴く声があがった。	302
11 【室内楽】 小林道夫チェンバロリサイタル最終章	2月24日(金)	iichiko 音の泉ホール	J.S.バッハの楽曲をバロック音楽の大家・小林道夫氏が演奏するリサイタル。2017年から開催し今回が最終章。「ゴルトベルク変奏曲」、アンコール曲「わが堅き望みなるイエスは」を演奏し、来場者からバッハと小林氏の演奏を聴く賞賛が寄せられた。	338
12 【ポップス】 ビリー・バシバンコンサート	3月11日(土)	iichiko 音の泉ホール	県立美術館で開催している「河北秀也のiichiko design」展との連携企画。同年代に活躍したフォークデュオ「紙ふうせん」がゲスト出演。プログラムは「iichiko」の歴代CMの映像を背景に「また君に恋している」「愛は祈りのようだね」等。「紙ふうせん」は「翼をください」等を歌った。来場者から「同世代のミュージシャンの活躍は生きる力になる」等の感想が聞かれた。	626
13 【オーケストラ】 iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 第14回定期演奏会	3月26日(日)	iichiko グランシアタ	指揮に船橋洋介氏を招き、団員44名・卒団生11名・芸短生13名、その他賛助等計83名で演奏。1曲目はシベリウスのフィンランディア。2曲目は大分市出身で東京交響楽団コンサートマスターの水谷晃氏(ヴァイオリン)をソリストにメンデルスゾーンヴァイオリン協奏曲。3曲目はシベリウスの交響曲第2番。来場者から「交響曲第2番を見事に演奏した」「ジュニアオーケのコンサートマスターや管楽器の団員のソロの演奏の素晴らしさ」を聴く感想があがった。	790

令和4年度総合文化センター自主事業実績一覧

2 鑑賞系事業(共催事業)

事業名	開催月日	会場	事業内容	入場者(人)
1 第22回別府アルゲリッチ音楽祭 室内楽コンサート (主催:公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団)	5月28日(土)	iichiko グランシアタ	前半はアルゲリッチのピアノ独奏「シューマンの子供の情景〜見知らぬ国の人々について」「バッハのバルティータ第2番」と続き、後半「ベートーヴェンのピアノ四重奏曲第3番」を弦楽メンバーと演奏。3年ぶりの音楽祭は感動と拍手に包まれた。その後県知事から県民栄誉賞が贈られバッハのイギリス組曲第3番ガヴァットが返礼演奏された。	1,640
2 キエフ・クラシック・バレエ『白鳥の湖』 (主催:GAKUONユニティ・フェイス)	9月5日(月)	iichiko グランシアタ	ウクライナの首都キエフの市立青少年劇場のバレエ団の公演で、幼い子どもをはじめすべての人が楽しんでもらうことをめざし、ヨーロッパ各国、また日本各地でバレエ芸術の素晴らしさを伝えている。平成29年以來の公演。プリンシパルの長澤美絵はウクライナ情勢悪化のため2月中旬から日本に避難し公演を続けている。	914
3 劇団四季ミュージカル 『ロボット・イン・ザ・ガーデン』 (主催:劇団四季)	9月10日(土)	iichiko グランシアタ	ロボットが人間に代わり家事や仕事を行う未来、心に傷を抱えた男と壊れかけのロボット・タンクが旅をしながら心を通わせ、希望や前向きな気持ちへ変わっていくストーリー。イギリスの作家デボラ・インストールの小説を劇団四季が舞台化し大人も子どもも楽しめるミュージカルの公演が行われた。	1,181
4 大分県立芸術文化短期大学 第58回定期演奏会 (主催:大分県立芸術文化短期大学)	10月10日(月)	iichiko グランシアタ	前半はブラームスの「悲劇的序曲」「運命の女神の歌」「悲歌」。重厚で美しいメロディーとともに管弦楽と合唱の織りなすハーモニーで魅了した。後半はムソルグスキーの交響詩「禿山の一夜」組曲「展覧会の絵」。学生たちの若く力強い演奏に大きな拍手がおくられた。	593
5 二期会オペラ 『フィガロの結婚』 (主催:公益財団法人東京二期会)	10月23日(日)	iichiko グランシアタ	モーツァルト作曲、宮本亜門演出の人気公演。九州では初めて。指揮は川瀬賢太郎、管弦楽は日本センチュリー交響楽団。観客はフルオーケストラの生の演奏と二期会メンバーの繊細な歌唱、素晴らしい演技、人間味あふれるモーツァルト作品の魅力でオペラを楽しんだ。	441
6 ディズニー・オン・クラシック 〜まほうの夜の音楽会2022〜 (主催:OBS大分放送)	11月20日(日)	iichiko グランシアタ	メイン演目「塔の上のラプンツェル」を中心にディズニーの名曲をオーケストラとヴォーカリストの生演奏、スクリーン映像と美しい照明演出とともに上演。その日演奏する曲を人気のディズニーの映画音楽からルーレットで決める演出で盛り上げた。	1,670
7 硬派弦楽アンサンブル 石田組 (主催:株式会社BIC)	11月30日(水)	iichiko 音の泉ホール	石田泰尚を中心に結成された男性のみ13人のアンサンブル。大分県出身の生野正樹や長石篤志がヴィオラメンバーとして出演。「シンドラーのリスト」やディープ・パープルの「紫の炎」等を演奏した。県外ファンの方も多かった。	609
8 佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ (主催:TOSテレビ大分)	12月8日(木)	iichiko グランシアタ	佐渡裕が指揮を務めるシエナ・ウインド・オーケストラによるブラスの祭典。K.エマーソン&G.レイクの組曲「タルカス」、ムソルグスキーの「展覧会の絵」等を演奏。アンコール「星条旗よ永遠なれ」では会場が拍手で一体となった。	1,085
9 第44回大分第九の夕べ (主催:NPOおおいの第九を歌う会)	12月18日(日)	iichiko グランシアタ	指揮には梅田俊明を迎え、ソリストにはソプラノに木下美穂子、アルトに三宮美穂、テノールに行天祥晃、バリトンに新見準平が出演し、3年ぶりにベートーヴェンの交響曲第9番「合唱付き」が全楽章演奏された。久しぶりのオーケストラでの第九に来場者から称賛の声があがった。	781
10 第48回九州公演 日本フィルハーモニー交響楽団 (主催:公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団)	2月14日(火)	iichiko グランシアタ	指揮は上淳一、ピアノ小林愛美と日本フィルによるコンサート。プログラムはチャイコフスキーの歌劇(エフゲニー・オネーギン)よりボロネーズと交響曲第4番、ショパンのピアノ協奏曲第2番。2021年「第18回ショパン国際ピアノコンクール」で第4位入賞の小林愛美の繊細な演奏に大きな拍手がおくられた。	1,308
11 NHK交響楽団演奏会 大分公演 (主催:NHK大分放送局、NHK交響楽団)	2月26日(日)	iichiko グランシアタ	大分では4年ぶりの開催。尾高忠明指揮、ソリストは辻彩奈(ヴァイオリン)。メンデルスゾーンの序曲「フィンガルの洞窟」、ブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番、ベートーヴェンの交響曲第7番を演奏し来場者から大きな拍手がおくられた。	1,422
12 渡邊智道ピアノリサイタル (主催:ピアノ芸術研究会)	3月10日(金)	iichiko 音の泉ホール	ホロヴィッツが愛用した1912年製のピアノ「ニューヨーク・スタインウェイCD75」を音の泉ホールに搬入し、ラフマニノフ「リラの花」「コレルリの主題による変奏曲」やドビュッシー「喜びの島」などをピアノの響きの在り方、奏法を追求し演奏した。	384

令和4年度総合文化センター自主事業実績一覧

3 人材育成事業(主催事業)

事業名	開催月日	会場	事業内容	参加者(人)
1 ジュニアオーケストラ育成事業	通年		当センターのホール付属で県内唯一の子ども達によるジュニアオーケストラの運営を行った。練習は原則毎月第2、第4日曜日で場所はiichiko Space Beで行った。芸術監督は川瀬麻由美氏、音楽監督は高田喜夫氏。令和4年度特別講師は水谷晃氏、宇野健太氏、金管五重奏団 Buzz Five。	団員 49 アカデミー 12
2 ボランティアスタッフ育成事業	・ブラッシュアップ研修 5月13-14日(金-土) ・発声研修 6月1-2日(水-木) ○通年活動		角屋里子氏によるブラッシュアップ研修では接遇の基礎を確認し技術の向上を図った。岡崎亮子氏による発声研修ではマスクをしたままでも案内をハッキリ伝える発声練習を内容とした。コロナの中であったが、ボランティアスタッフとしてセンター主催・共催公演等で40回の活動を行った。	登録者 48
3 大分県中高校生芸術文化祭ミラ☆スタ	12月17日(土)	iichiko グランシアタ	大分県内の中学校、高等学校の芸術文化活動の成果を、広く県民に披露する機会を設けた(10回目の開催)。 ・ジャンル 吹奏楽、伝統芸能、ダンス、合唱、書道 ・出演校 6校(城東中学校、原川中学校、大分高校、三重総合高校、芸術緑丘高校、豊府高校)	来場者 265

4 普及啓発事業(主催事業)

事業名	開催月日	会場	事業内容	入場者、参加者(人)
1 西洋音楽史レクチャー	8月31日(水) 10月19日(水)	iichiko SpaceBe 映像小ホール	ビジネスマン向けに分かりやすく音楽の教養講座を開催した。西洋音楽の歴史の中で女性作曲家に着目した講座を2回シリーズで開催。講師は松田亜有子氏。	23 16
2 アトリウム遊園地	【中止】 9月11日(日)		新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。	中止
3 青島広志おしゃべりオペラティックコンサート	9月21日(水)	iichiko 音の泉ホール	19世紀前半のイタリアオペラを代表するドニゼッティをはじめロッシーニ、ペルギーニ、また影響を与えた作曲家などについて解説し、ソプラノの横山美奈が歌曲「音楽の夜会」より(約束)等を、またテノールの澤田浩一が歌劇「愛の妙薬」より(人知れぬ涙)等を披露した。	220
4 フランチェスコ・ミケーリが語る音楽祭とまちづくり	9月30日(金)	iichiko 音の泉ホール	イタリアベルガモで開催されるドニゼッティ・オペラ祭のミケーリ芸術監督による講演。松田亜有子ナビゲーターが講演をリードし、ミケーリ氏はベルガモ市民であったドニゼッティを讃え、現代の若者に芸術の魅力を伝え、芸術の街ベルガモの魅力を発信するオペラ祭について想いを込めて講演した。	120
5 鑑賞支援つき 日本舞踊「藝〇座」ワンコインリレーコンサートvol.1	10月16日(日)	iichiko 音の泉ホール	おおい障がい者芸術文化支援センターとの共同主催事業。手話通訳や要約筆記、点字プログラム、拡大文字プログラム等の鑑賞支援を整えた。出演は東京藝大邦楽科卒業生による若手日本舞踊家集団「芸〇座」、長唄の東音会、囃子のチリカラ伍。長唄「鶯宿梅」を演じた後、長唄・囃子のワークショップを行い、新作舞踏「百花繚乱〜花と妖精〜」を演じた。	午前 133 午後 105
6 びわ湖ホール声楽アンサンブルワンコインリレーコンサートvol.2	12月22日(木)	iichiko 音の泉ホール	昨年度のワンコインコンサートでも好評を博した公演。出演者は、竹内直紀、渡辺玲美(大分県出身)他6名。びわ湖周航の歌や荒城の月、ホワイトクリスマス、いのちの歌等を歌唱。来場者から「声楽アンサンブルの素晴らしさ」「歌声に引き込まれた」「オペラの素晴らしさに気づかされた」等の賛辞があがった。	昼 335 夜 198
7 おんがくのアーティスト・イン・レジデンス公開リハーサル	1月7日(土)	iichiko 音の泉ホール	大分にゆかりがある12人の若手音楽家たちが1月9日の公演に向けて集まり、それぞれのパートをお互いに調整しながら仕上げていく過程を公開し、来場者にトークとともに楽しんでいただいた。	昼179 夜 49
8 おんがくのアーティスト・イン・レジデンスワンコインリレーコンサートvol.3	1月9日(月祝)	iichiko 音の泉ホール	県出身や県とゆかりのある若手音楽家によるコンサート。水谷晃(ヴァイオリン)、長石篤志(ピアノ)、宇野健太(チェロ)、渡邊智道(ピアノ・チェンバロ)の4人が中心となり、ジュニアオーケストラ出身の笠口和美(ヴァイオリン)・近藤沙耶香(ヴァイオリン)など11名でヴィヴァルディ「四季」全曲を演奏。	午前 462 午後 437
9 小林道夫チェンバロレクチャー	1月14日(土)	iichiko SpaceBe リハーサル室	2月24日公演「小林道夫チェンバロリサイタル最終章ゴルトベルク変奏曲」の事前レクチャー。パッサとゴルトベルク変奏曲について、チェンバロを演奏しながら楽譜研究と解釈を解説した。	44
10 古典芸能レクチャー「教養として学んでおきたい古典芸能」	1月21日(土)	iichiko SpaceBe リハーサル室	講師は葛西聖司氏。開館以来続く人気のレクチャーで満席。歌舞伎と能狂言の関係、能と狂言の違いなど古典芸能の鑑賞に役立つ話題や面白さをわかりやすく解説し、参加者から興味深い、歌舞伎、能の楽しみ方が増えた、と好評を得た。	午前 50 午後 52
11 タンタシオン・デ・ブルー「通奏低音レクチャー」	2月2日(木)	iichiko SpaceBe リハーサル室	バロック音楽の“通奏低音”に焦点をあてたレクチャー。海野幹雄氏が通奏低音の役割を解説し、チェロの通奏低音と鍵盤楽器の通奏低音の役割の違いなど、実際に楽器(チェロとピアノ)を使って実践解説した。後半は3名のチェリストも加わり、チェロ四重奏の演奏でフランクやモーツァルトの楽曲を演奏し通奏低音について知ってもらう機会となった。	50
12 金管五重奏団 Buzz Five ワンコインリレーコンサートvol.4	2月20日(月)	iichiko 音の泉ホール	地域創造のおんかつ登録アーティストとして多くの経験をもつ『金管五重奏団』。昼公演は2歳以上から入場可能とし会場を明るくした。未就学児が多い(35名)公演となった。曲目はジブリメロデーやクラシック。金管五重奏という大分ではなかなか聴くことのできない編成、わかりやすいトークで来場者を魅了した。	昼 303 夜 286
13 ジュニアオーケストラフェスティバル	3月4-5日(土-日)	iichiko アトリウムプラザ SpaceBe グランシアタ	ジュニアオーケストラの活動を広く知ってもらうためフェスティバルを開催。初心者対象の楽器紹介や楽器体験では団員が指導し、経験者には講師によるレッスン体験などを実施。2日目には団員と参加者が一緒にステージに立ち、天国と地獄等を演奏した。	参加者 99 来場者 330
14 ミュージカル体験ワークショップ	3月12日(日)、18日(土)、19日(日)、21日(火祝)	iichiko SpaceBe リハーサル室	ミュージカルの普及を目的に有名ブロードウェイ作品のナンバーを歌って踊るワークショップ。小学生の部、中高大学生の部、大人の部の3部門。講師は野口アキラ氏(演出)、岡崎亮子氏(歌唱指導)、西川晴香氏(振付)。最終日にはアトリウムプラザで成果披露の発表会を行った。	小中高大 25 大人 20
15 演奏家派遣事業	通年	17件	センターから遠距離にある小学校等を中心に、オーディションを通過し、研修を終えた大分県にゆかりのある若手演奏家を派遣し、生のクラシック音楽とその魅力を届けた。(ピアノ、声楽、弦楽器、管楽器、打楽器、アンサンブル)	785